2023年4月-6月期　運用状況のアップデート

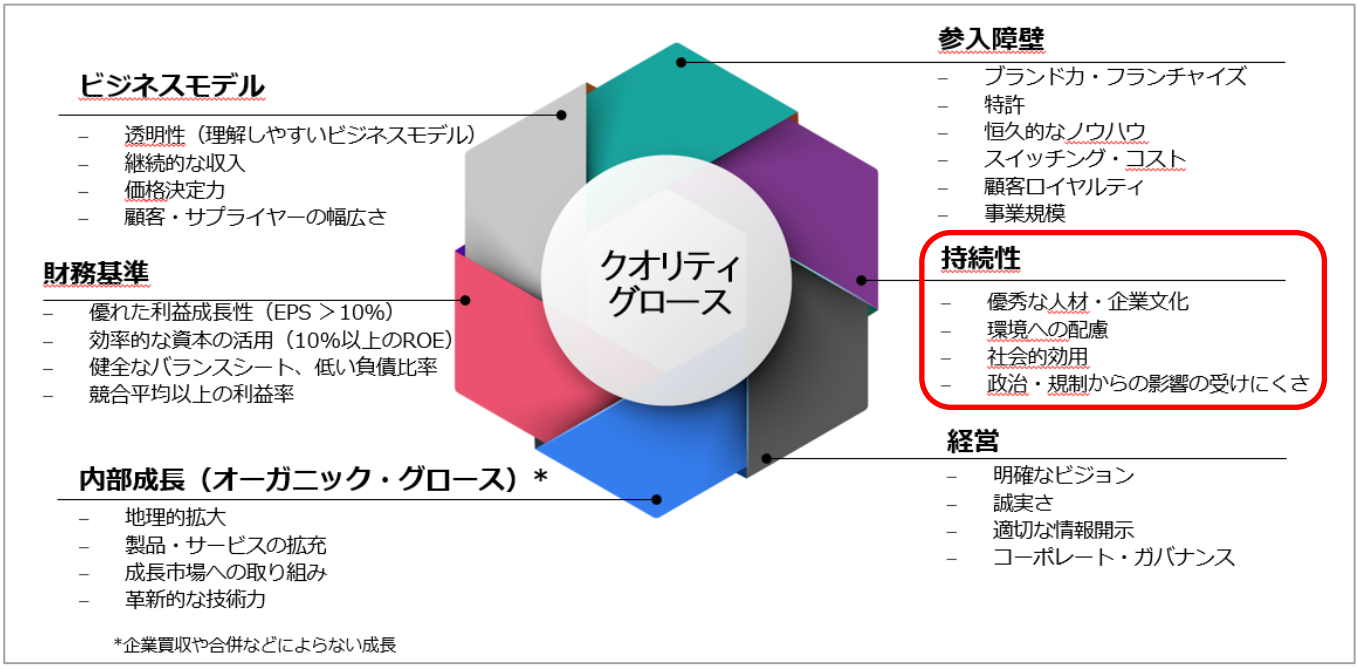
当レポートは、コムジェストの運用哲学、手法、運用状況をお伝えするために作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。最終ページの留意事項を必ずご覧ください。

コムジェストの投資哲学・投資方針

- クオリティグロース企業を厳選し、長期投資を行うことで、お預かりしている資産の長期的な成長を目的として運用を行います。
- クオリティグロース企業とは、長期的に高い利益成長が実現できると期待される企業です。競合他社を寄せ付けない参入障壁、技術力、特許、ユニークなビジネス基盤などを持ち、それらの強さを維持向上できるような企業文化や経営陣を有する企業です。
- 長期的な視点で投資を行う理由は、株価成長率は長期的には企業のEPS（1株当たり純利益）成長率に連動する、と考えているためです。

持続性って何？　～SUSTAINABILITY～①

コムジェストでは投資先の企業（クオリティグロース企業）を決めるにあたり、6項目の基準を設定しています。
今回はその中の１つ「持続性」にフォーカスしてコムジェストの投資をご紹介します。



持続性の項目では「その企業が長期にわたって価値を創出し続けていくことができるか」を見ています。投資家の多くは、企業がどのように持続的な価値の創出を成し得ているのか、きちんと理解している人は極めて少ないのではないかと私たちは考えます。混乱の原因は、「株主価値の創出」の考え方にあります。「創造される企業価値は、企業活動が生み出す利益から投資額を差し引いた額に等しい。というシンプルなものである。」という誤解です。このような誤解のもとに企業の価値を測ってしまうと、株主価値は本来、長期的な価値の創出に根ざしたものであるはずなのですが、実際には短期的な利益の追求に終始してしまうケースもあり、この場合、将来価値を生み出すための企業の投資が削減され、長期的に見れば株主価値の毀損という結果ににつながりかねません。

データ：2023年6月末時点。データソース:,Comgest S.A本文書で提示する資料は情報提供のみを目的としたものであり、特定の銘柄の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではありません。当資料は特定の資産の上昇または下落を示唆するものではありません。上記銘柄は資料作成日時点に保有している銘柄であって資料をお渡しする時点で保有しているとは限りません。

持続性って何？ ～SUSTAINABILITY～②

それでは、「将来価値を生み出すための企業の投資」とは具体的にはどのようなものでしょうか。株主価値を長期的に創出し続けるためには"人的・自然・社会資本など、金銭以外の必要不可欠で重要な資本"の利用が不可欠です。

例えばステークホルダー（利害関係者）から価値を奪うことで株主価値を創出する企業も存在します（顧客に高い価格を要求する、サプライヤーに支払うべきマージンを減らす、従業員の給与水準が低い、など）が、このような企業はいずれ顧客、従業員、サプライヤー、独占禁止法の規制当局、税務当局などからの反発を受け、結果的に信頼は失墜し、利益も失われかねません。

また、「自然資本」は、リターンも価値の増大も求められないという意味で特殊な例です。しかしこの資本は、特に供給に限界がある場合、再生を促し元の水準を維持するために、少なくとも失われた部分については埋め合わせておかねばなりません。そうした意味で、企業が社会の枠組みの中で事業活動を継続し、利益を上げ続けるために、環境保護、リサイクル、製品のリユース（再利用）などをビジネスモデルに取り込む動きは、望ましい取り組みとして奨励され、高く評価されるべきであると私たちは考えています。

＜持続性を測る主なポイント＞
・優秀な人材や企業文化を持っているか
・環境へ配慮した事業活動をしているか
・社会から必要とされているか
・政治/規制から影響を受けにくいか

コムジェストが投資対象としている企業は全てこの持続性が高いことが大前提です。業種や事業内容によって項目ごとに濃淡はありますが、どれか一つが優れていればOKというわけではなく、これらの要素を全体的に評価し、各企業の持続性を評価しています。中でも持続性を最も決定づける要素は人材・企業文化にあると考えています。

コムジェストの投資先企業の持続性について事例をご紹介します。

ASMLホールディング（オランダ/半導体製造装置メーカー）
・優秀な人材や企業文化
→ ASMLのコアバリューは、チャレンジ、コラボレーション、ケア。技術革新と卓越性の文化が、ASMLを稀に見る独占的状況へと導きました。パートナーシップ意識と質の高いステークホルダー・マネジメントにより装置の製造過程をモジュール化することに成功しています。コア技術以外の技術をオープンにすることで部品メーカーとの分業体制を構築。この体制により、同社は他社の追随を許さないコア技術の確立に成功し、持続可能な競争優位性を生み出しています。

HOUSING DEVELOPMENT FINANCE（インド/インド最大の住宅ローン金融会社）
・社会から必要とされている・政治/規制から影響を受けにくい
→インド国内における住宅不足解消と住宅保有率向上を目的に設立されました。「万人のための住宅」というミッションはインド政府のミッションでもあります。コムジェストは、手頃な価格の住宅はインドにおける最大の社会経済的機会の一つであると考えます。インドの住宅ローンの低普及率（名目GDP比10%）は他国と比べても低く（中国は18%、米国56%）、成長余地も大きいです。

・優秀な人材や企業文化
→創業来、金融機関にとって重要なことは、「顧客に対する信頼、誠実さ、顧客第一主義」と掲げており、従業員には顧客のことをよく知り、真のニーズを探ることで、最高のサービスを提供し、お客様に喜んでいただきたいという高い意識が根付いています。
顧客満足度向上をめざし、徹底した顧客データの分析によるサービス開発に注力することで業界初の革新的なサービスを次々と生み出しています。同社は高いブランド力と信頼獲得に成功しており、結果的に国営銀行よりも余分に手数料を払ってでも同社に乗り換える顧客も多いとのことです。

これらの企業は他にも持続的な企業価値の創出を確信させる要素がたくさんありますので、次回以降にご紹介します。

データ：2023年6月末時点。データソース:,Comgest S.A本文書で提示する資料は情報提供のみを目的としたものであり、特定の銘柄の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではありません。当資料は特定の資産の上昇または下落を示唆するものではありません。上記銘柄は資料作成日時点に保有している銘柄であって資料をお渡しする時点で保有しているとは限りません。

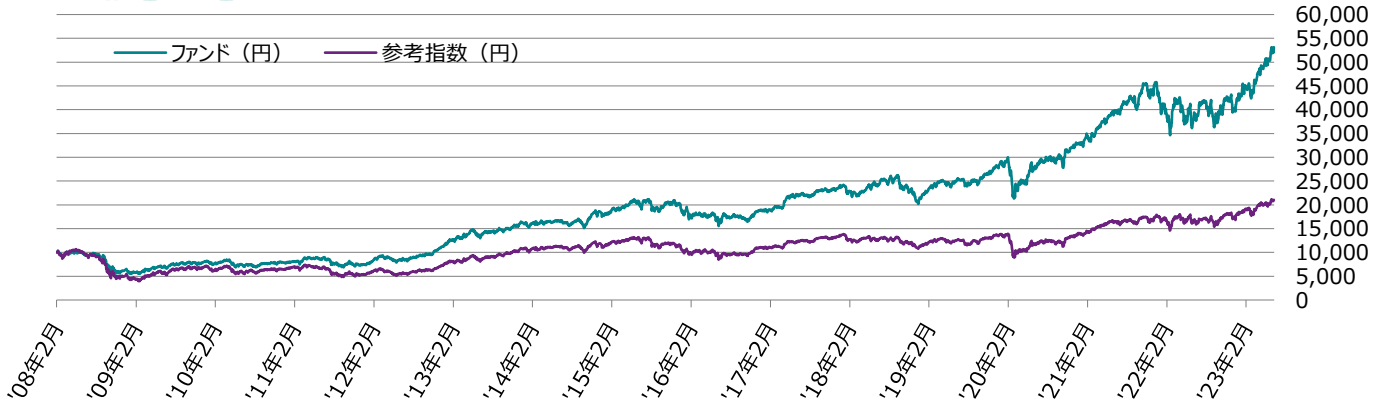
コムジェスト・ヨーロッパ株式戦略

日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

累積パフォーマンス(%)

設定日＝2008年2月22日



※参考指数: MSCIヨーロッパ指数（円換算ベース、税引き後配当再投資）
＊参考指数は設定日前日を10,000として指数化

	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	設定来（年率）
ファンド	14.71	31.58	36.31	24.03	17.36	11.48
参考指数	10.13	20.81	25.54	21.59	11.08	4.97
+/-	+ 4.58	+ 10.77	+ 10.77	+ 2.44	+ 6.28	+ 6.51

保有上位10社（銘柄総数39： 株式組入比率：99.6%）

	名前	国	概要・特徴	保有比率
1	ASMLホールディング	オランダ	半導体製造装置メーカー。先端半導体の生産に不可欠な EUV（極端紫外線）リソグラフィ（露光）装置で世界最大手	8.0%
2	ノボ・ノルディスク	デンマーク	世界大手の製薬会社、糖尿病治療薬の世界的リーダー	7.1%
3	LVMHモエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン	フランス	世界最大の高級品コングロマリット	5.2%
4	エシロールルックスオティカ	フランス	世界最大のアイウエアメーカー	4.5%
5	リンデ	イギリス	産業用ガス分野の世界最大手	4.4%
6	アクセンチュア	アイルランド	アイルランドに本社を置く、世界的なコンサルティング会社	4.3%
7	ストローマン・ホールディング	スイス	スイスの歯科用インプラントメーカー	4.2%
8	アルコン	スイス	世界最大級のアイケア医療機器グローバル企業	3.9%
9	ダッソー・システムズ	フランス	欧州最大級のソフトウェア開発企業	3.1%
10	エクスペリアン	イギリス	アイルランドの信用調査大手	3.1%

データ: コムジェスト・アセットマネジメント

パフォーマンスは、信託報酬を控除しておりません。1年以上の騰落率は年率平均（複利ベース）。
日本籍私募投信は、戦略のパフォーマンスをご理解頂くために提示していますが、一般の投資家の方は直接買い付けることはできません。
参考指数は、MSCI Europe指数・税引き後配当再投資（EURベース）を使用。参考指数 の騰落率は、基準日前営業日の現地終値に対EUR為替レート（三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場の基準当日（東京）の仲値）を乗じて算出しています。本資料の情報は、お客様に通知なしに変更されることがあります。
当社の事前の許可なく、本資料を第三者へ交付することはご遠慮下さい。
指数は、パフォーマンスの評価の目安としてのみ利用しており、指数と同じ銘柄に投資しているという事を示すものではありません。
資料の用いられた運用実績に関するグラフ、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

コムジェスト・ヨーロッパ株式戦略

日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

運用状況について

4-6月期のパフォーマンスについて

・欧州株式市場が上昇（参考指数は＋10.13%）する中、当ファンドは＋14.71%となりました。
・パフォーマンスにプラス寄与となった主な企業は、ASMLホールディング（オランダ/EUV露光装置世界最大手）、アルコン（スイス/アイケア医療機器大手）、エシロールルックスオティカ（フランス/アイウェア世界最大手）等でした。一方、マイナス寄与となった主な企業は、ザルトリウス・ステディム・バイオテック（フランス/バイオ医薬品企業向け製品及びサービス提供企業）、カールツァイスメディテック（ドイツ／眼科向け医療機器メーカー）、キングスパン・グループ（アイルランド／大手建材メーカー）、等でした。マイナス寄与企業については、引き続き質の高さを有することから、投資判断に大きな変更はなく、継続保有の方針です。

主な投資行動

・１社に新規投資を実施し、全売却した企業はありませんでした。
＜新規投資＞レレックス（イギリス）：ビジネス・法律・科学・医学等の分野における情報サービス企業を傘下に持つ企業グループ。近年、各部門でデータ分析能力の開発と収益化に成功しており、構造的にオーガニック成長が加速することへの確信度が高まったため、株価下落を利用して新規投資を実施しました。
・株価が堅調に推移したエシロールルックスオティカ（フランス）、ノボノルディスク（デンマーク/製薬大手）等を一部利益確定する一方、成長への確信度が高く、株価水準が魅力的であると判断したカールツァイス・メディテック（ドイツ）、シーカ（スイス/工業・建設用製品メーカー）、アイコン（アイルランド/製薬、医療関連の開発受託会社）等の買増しを実施し、最適なポートフォリオの構築に努めました。
・低調な経済成長とインフレ圧力により欧州企業の利益動向は全般的にゼロ成長が予想される中、当ポートフォリオは今年も来年も２ケタ増益が見込まれています。引き続き、企業収益はインフレ、金利動向に左右される見通しですが、当ポートフォリオは、無借金または低借金の企業で構成されているため、金利上昇の影響を受けにくく、また、高い粗利益率と強力な価格決定力を有するため、収益性低下を防ぐことが可能と考えています。
・当社は、長期的には持続的な企業の利益成長こそが投資家リターンの最大の原動力であると引き続き考えています。短期的な株価下落を利用し、割安になった優良企業を丹念に拾っていくことで持続的な成長を享受できる質の高いポートフォリオの構築に努めています。

過去3年のパフォーマンス寄与　上位下位企業

・マイナス寄与企業のうち、オーピア（フランス/介護施設等の運営）は、ずさんな経営実態や介護時の注意義務違反を告発する痛烈な批判本が出版される等、メディアで様々な疑惑が報じられ、CEO交代、独自調査の開始を決定しました。疑惑の極一部でも事実であれば、厳格なクオリティ基準への疑念を抱かざるを得ないため、全売却しました。プロサス（オランダに拠点を置く投資会社）は当初想定していた投資の前提を満たせなくなっていたため、より魅力的な投資機会に資金を振り向けるため、全売却しました。

【過去３年のパフォーマンス寄与企業】（2020年6月末～2023年6月末）

寄与上位3社	国	業種	平均保有比率（%）	パフォーマンス（%）	保有状況
ASMLホールディング	オランダ	情報技術	6.80	170.02	継続保有
ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	6.00	219.45	継続保有
LVMHモエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン	フランス	一般消費財・サービス	3.96	185.72	継続保有

寄与下位3社	国	業種	平均保有比率（%）	パフォーマンス（%）	保有状況
アディダス	ドイツ	一般消費財・サービス	1.22	-31.78	継続保有
オーピア	フランス	ヘルスケア	1.15	-64.33	全売却
プロサス	オランダ	一般消費財・サービス	1.74	-20.96	全売却

データソース： Factset

コムジェスト・ヨーロッパ株式戦略

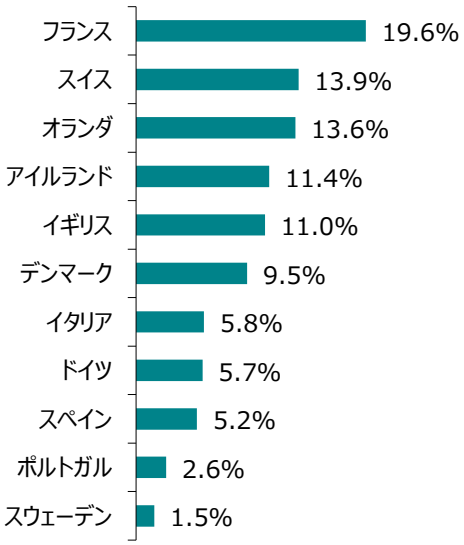
日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

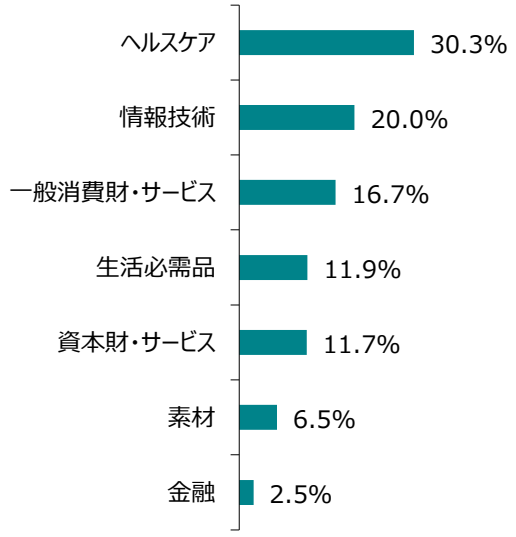
保有上位企業の注目点

1	ASMLホールディング	同社は、先端半導体の生産に不可欠なEUV（極端紫外線）リソグラフィ（露光）装置の世界最大手であり、市場を独占しています。その背景は、EUV装置の製造過程をモジュール化し、コア技術以外の技術をオープンにすることで部品メーカーとの分業体制を構築したことにあり、この体制により、同社は他社の追随を許さないコア技術の確立に成功しました。同社の顧客である半導体メーカー大手３社（米インテル、台湾セミコンダクター（ TSMC ）、韓国サムスン電子）は EUV技術による生産計画を示していますが、これは EUVへの生産シフトが今後数年間、同社の収益成長を支える原動力となることを意味します。
2	ノボ・ノルディスク	同社は、糖尿病や慢性疾患の克服を掲げる糖尿病薬世界トップシェアを握る企業です。研究開発を糖尿病領域等に絞り込んで行った結果、糖尿病治療薬で高い技術力とマーケットシェアを獲得。糖尿病治療薬及び肥満ケアでのマーケットシェア拡大と、市場の拡大から恩恵を受けると予想しています。
3	LVMHモエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン	同社は高級ブランドのルイ・ヴィトン、クリスチャン・ディオール、フェンディ等や高級酒類のヘネシー、モエ・エ・シャンドン、ドン・ペリニオン等、複数の高級ブランドを傘下に有する高級品コングロマリット。同社の参入障壁は長い歴史を経て醸成された「ブランド」そのものにあります。ラグジュアリーブランドは価格競争に巻き込まれにくい特徴があり、また、同社は事業規模の大きさから、小規模な競合他社に対してマーケティング費用で圧倒的な優位性があります。世界的な富裕層の増加、中国等の新興国における中間所得層の増加、新興国市場への地理的拡大による成長が見込まれます。
4	エシロールルックスオティカ	エシロールとルックスオティカの経営統合により設立（2018年）。圧倒的な市場シェアと強力なブランド、技術ノウハウを持っています。スマートグラス（ＡＲ技術を搭載した新世代眼鏡）の開発など、近視コントロール、老眼などへの次世代ソリューションも提案しています。新興国における中間所得層の増加と世界的な高齢化・都市化に伴う近視・老眼の増加・日焼け対策需要の恩恵を受けると考えます。
5	リンデ	同社は、ドイツのリンデ社と米プラクスエア社の経営統合により設立された持ち株会社であり、産業用ガス分野の世界最大手です。水素製造事米プラスエア社業は市場規模が「世界３強」の1つとなっており、水素市場の拡大期待とともに長期的な成長への確信度が高まっています。長期的な視点を持った経営陣についても評価しています。

―国別



―業種別



データソース： T-star, Comgest S.A.

国別はComgest S.A.分類に、業種別はGICS（世界産業分類基準）セクター分類に基づいております。比率は純資産総額に対する割合です。

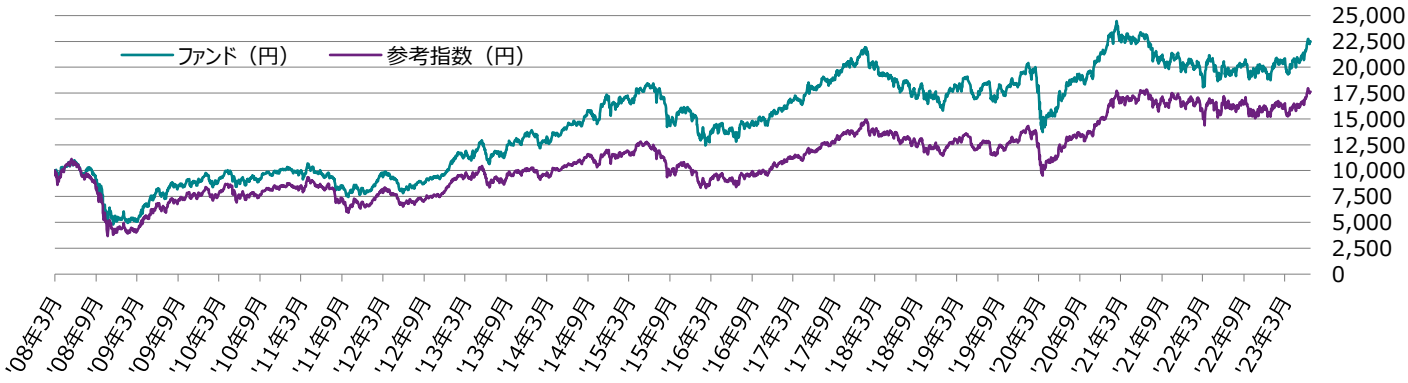
コムジェスト・グローバル・エマージング市場株式戦略

日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

累積パフォーマンス(%)

設定日＝2008年3月7日



参考指数: MSCIエマージング・マーケット指数（円換算ベース、税引き後配当再投資）
＊参考指数は設定日前日を10,000として指数化

	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	設定来（年率）
ファンド	10.86	17.46	13.28	9.18	4.96	5.43
参考指数	9.72	14.13	6.30	12.90	6.95	3.77
+/-	+ 1.14	+ 3.33	+ 6.98	- 3.72	- 1.99	+ 1.66

保有上位10社（銘柄総数39： 株式組入比率：96.2%）

名前	国	概要・特徴	保有比率
1 台湾セミコンダクター（TSMC）	台湾	世界最大のロジック半導体ファウンドリー（受託製造企業）	6.3%
2 フォメント・エコノミコ・メヒカノ	メキシコ	ラテンアメリカ最大のボトリング会社、かつ、メキシコ3番手の小売業者	5.7%
3 サムスン電子	韓国	韓国の大手総合電機メーカー	5.6%
4 デルタ電子	台湾	台湾の大手電源管理製品・システムメーカー	4.7%
5 マルチ・スズキ	インド	インドの大手自動車メーカー	4.1%
6 AIAグループ	香港	アジア最大級の保険グループ	4.1%
7 HDFC	インド	個人向け住宅金融事業を主とするインド大手の金融グループ	4.1%
8 インナ・モンゴル・イーリー・インダストリアル・グループ（内蒙古伊利実業集団）	中国	中国の大手乳製品メーカー。長期的視野をもった経営陣を有する。生乳、粉ミルク、ヨーグルト、アイスクリーム、チーズ等バランスの取れた製品群を製造・販売	3.8%
9 メルカドリブレ	アルゼンチン	ユニークビジター数とページビューで南米最大のEコマース企業	3.6%
10 テンセント・ホールディングス（騰訊控股）	中国	中国のソーシャルメディア／インターネットゲーム大手	3.4%

データ: コムジェスト・アセットマネジメント

パフォーマンスは、信託報酬を控除しておりません。1年以上の騰落率は年率平均（複利ベース）。
日本籍私募投信は、戦略のパフォーマンスをご理解頂くために提示していますが、一般の投資家の方は直接買い付けることはできません。
参考指数は、MSCI Emerging Markets 指数・税引き後配当再投資（USDベース）を使用。参考指数 の騰落率は、基準日前営業日の現地終値に対USD為替レート （三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場の基準当日（東京）の仲値）を乗じて算出しています。
本資料の情報は、お客様に通知なしに変更されることがあります。当社の事前の許可なく、本資料を第三者へ交付することはご遠慮下さい。
指数は、パフォーマンスの評価の目安としてのみ利用しており、指数と同じ銘柄に投資しているという事を示すものではありません。
資料の用いられた運用実績に関するグラフ、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況について

4-6月期のパフォーマンスについて

・新興国市場は上昇する中（参考指数は＋9.72%）、当ファンドは＋10.86%となりました。
・パフォーマンスにプラス寄与となった主な企業は、フォメント・エコノミコ・メヒカノ（メキシコ/飲料メーカー・コンビニ大手）、サムスン電子（韓国/大手総合電機メーカー）、ロカリザレンタカー（ブラジル/大手レンタカー会社）、等となりました。
一方、主なマイナス寄与企業は、以下の通りです。
LG生活健康（韓国/化粧品・飲料・日用品メーカー）：中国の個人消費の回復の遅れにより主力ブランドWhooの販売が影響を受け、業績低迷が継続。代理店との問題、中国人の韓国への渡航制限もマイナス要因に。
ウーシー・バイオロジクス（中国/バイオ医薬品の受託開発会社）：今年の新薬開発の目標件数を引き下げたこと、上期の見通しが市場予想を下回ったこと等が嫌気されました。
香港証券取引所（香港/証券取引所運営）：株価に影響するニュースはありませんでした。

主な投資行動

・２社に新規投資、２社に再投資を実施し、３社を全売却しました。
・新規：ASMLホールディング（オランダ）：世界最大の半導体製造用露光装置メーカーであり、最先端半導体用EUV露光装置で100%のシェアを有する。売上、利益の５割以上が新興国に由来することから新規投資を実施。ポートフォリオにおけるリスク分散（半導体セクター、地政学）、高成長の取り込みに期待。
・新規：モバイルワールド・インベストメント（ベトナム）：携帯電話店、家電量販店、ミニマート等を展開する小売り最大手。ベトナム経済の成長に伴う消費拡大の恩恵を最も享受できる企業と判断し、新規投資を実施。
・再投資：グイジョウ・マオタイ（中国/高級白酒メーカー）、B3（ブラジル/証券取引所）
・売却：パグセグロデジタル・デジタル（ブラジル）：競争激化により足元で低調な業績が続いていたこと、また、質と成長性の観点からブラジル企業のポジションをロカリザレンタカーとB３に集中させるために全売却を実施しました。
・売却：シンイ・ソーラー（信義光能）（中国）：ソーラーガラスサイクルの底打ちを予想し、小さなポジションで慎重に投資を実施したものの、予想に反する業界統計、企業業績や米国による関税措置の再承認等、当初の想定を満たせないと判断し、全売却しました。
・売却：NCソフト（韓国）：人件費の増加と新作販売の一服等による低調な業績、国内が競争激化する中、海外事業の展望が未だ示されないこと等から、他の魅力的な投資機会に資金を振り向けるために全売却しました。
・この他に、株価が堅調に推移し、相対的に割高になった企業や成長への確信度が低下した企業についてはポジションを一部削減し、株価水準が魅力的な企業、成長への確信度が高まった企業の買増しを実施しました。

過去3年のパフォーマンス寄与　上位下位企業

【過去３年のパフォーマンス寄与企業】（2020年6月末～2023年6月末）

寄与　上位3社	国	業種	平均保有比（%）	パフォーマンス（%）	保有状況
台湾セミコンダクター（TSMC）	台湾	情報技術	6.06	120.08	継続保有
フォメント・エコノミコ・メヒカノ	メキシコ	生活必需品	3.69	136.31	継続保有
HDFC	インド	金融	4.83	97.19	継続保有

寄与　下位3社	国	業種	平均保有比（%）	パフォーマンス（%）	保有状況
アリババ・グループ（阿里巴巴集団）	中国	一般消費財・サービス	2.53	-56.15	継続保有
LG生活健康	韓国	生活必需品	2.62	-56.61	継続保有
ＮＣソフト	韓国	コミュニケーション・サービス	2.54	-58.19	継続保有

データソース：Factset

コムジェスト・グローバル・エマージング市場株式戦略

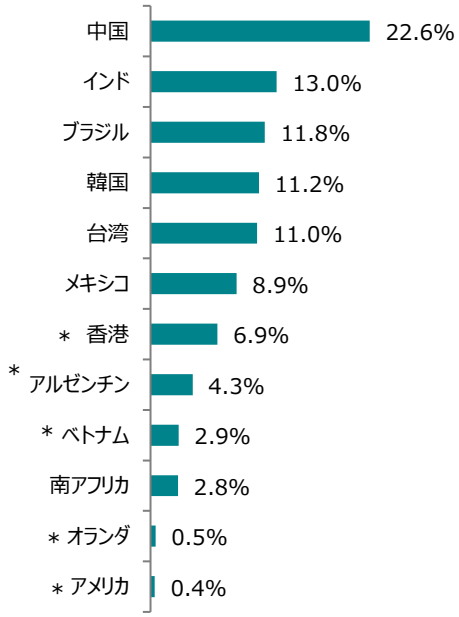
日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

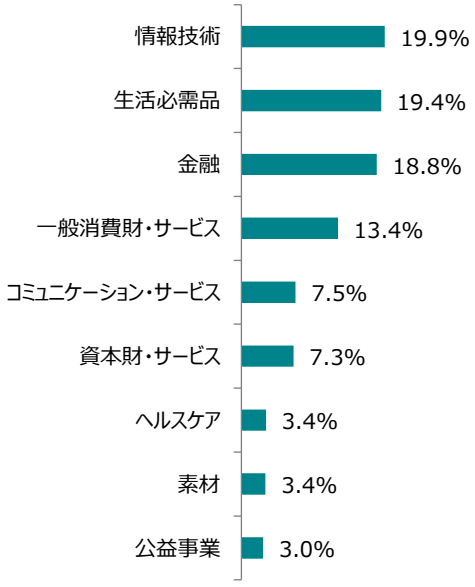
保有上位企業の注目点

1	台湾セミコンダクター（TSMC）	ファウンドリー市場の世界シェアは50%以上。売上は業界2番手の企業の約3倍規模。高機能・高性能のプロダクトでは約70%のシェア。5nmの半導体を安定的に製造できるのは当社のみであり、ハイテク機器を製造するには当社の協力が不可欠となっています。莫大な資金が必要な半導体製造業界において、初めて製造に特化したビジネスを確立し（それまでは垂直統合型が主流）、膨大な設備投資を続けることで築き上げた技術が参入障壁となっています。
2	フォメント・エコノミコ・メヒカノ	ラテンアメリカ最大のボトリング会社でメキシコ国内3番手の小売業者。ボトリング事業、ビール事業と小売事業のシナジー効果による利益成長が強みです。同社の小売り事業であるＯＸＸＯの力強い成長が期待されます。
3	サムスン電子	韓国の大手総合電機メーカー。毎年の大型設備投資により高い技術力を蓄積し、半導体メモリー（DRAMとNAND）で世界トップシェア（各約４割）です。今後、長期的に進むと予測される5G、IoT、AI、EV（電気自動車）の普及といったデジタル化の恩恵を受けると考えられます。
4	デルタ電子	1971年設立。エネルギー効率の高い電源製品の世界的企業。台湾と中国を中心に北米、南米、欧州等に開発、製造拠点を有します。同社のサービスは、自動車業界のEV化やセントリック電源システム等世界的な電源システムの構造変革のけん引役となっています。
5	マルチ・スズキ	インド国内5割強のシェアを持つ同国最大の乗用車メーカー。親会社スズキ（日本）の傘下、同社株式56%を保有。低価格で高品質な小型車に強みを持ち、自動車普及率が依然低いインドにおいて、農村地域を含む全域に強固な販売ネットワークを持っています。コムジェストは親会社である日本のスズキと積極的なエンゲージメントを実施しており、同社はCSRや環境関連の開示に積極的です。一方で、二酸化炭素削減や代替エネルギー対応製品の開発強化等、環境問題への取組み、労務面においてのより積極的な改善等に期待しています。

－国別



－業種別



データソース： T-star, Comgest S.A. *MSCI エマージング指数構成国に含まれない国。

国別はComgest S.A.分類に、業種別はGICS（世界産業分類基準）セクター分類に基づいております。比率は純資産総額に対する割合です。

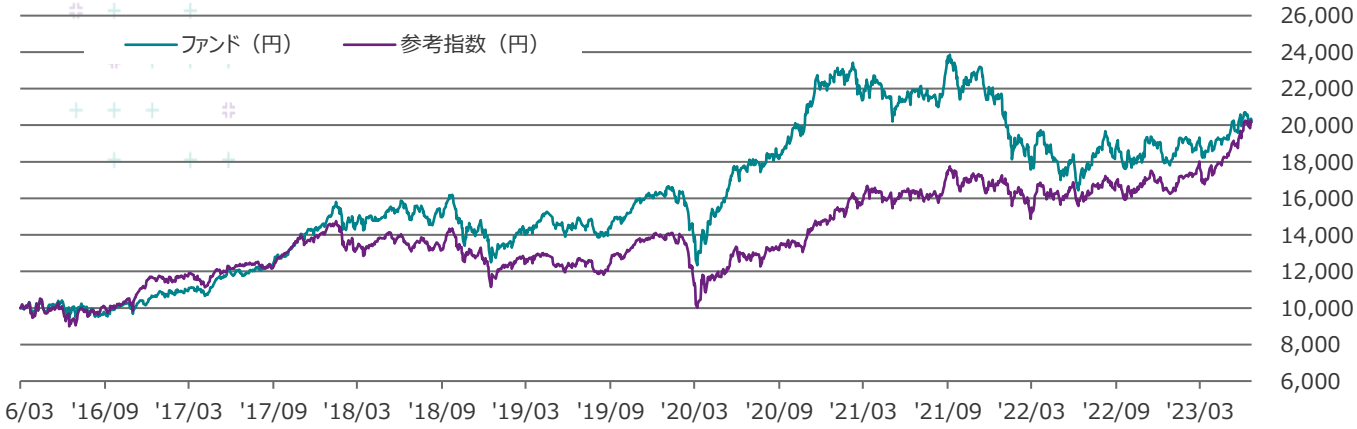
コムジェスト・日本株式戦略

日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

設定日＝2016年3月10日

累積パフォーマンス(%)



※参考指数：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

＊参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。

	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	設定来（年率）
ファンド	6.66	12.22	16.73	4.82	5.92	10.15
参考指数	14.45	22.69	25.69	16.42	8.34	10.07
+/-	-7.79	-10.47	-8.96	-11.60	-2.42	+0.08

保有上位10社（銘柄総数45： 株式組入比率：96.2%）

	名前	概要・特徴	保有比率
1	信越化学工業	主力製品が世界的に高いシェアを持つ化学メーカー	3.9%
2	ファーストリテイリング	ファッションブランド「ユニクロ」をライフウェアとして再定義し、グローバルに展開する大手カジュアル衣料品メーカー	3.5%
3	シスメックス	血液検査機器に強みを持つ医療機器メーカー	3.5%
4	オリックス	リースを中心に融資、投資、保険業等の幅広いサービスを提供する金融サービス会社	3.4%
5	オリエンタルランド	米ディズニーとの専属契約のもと、千葉県浦安市舞浜地区で「東京ディズニーリゾート」を運営	3.4%
6	ダイフク	立体自動倉庫などの搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられる物流システム・マテリアルハンドリングシステムの世界的トップメーカー	3.4%
7	ダイキン工業	省エネ性能に優れたインバーター技術や先進的な換気・空気清浄技術を持った世界最大の業務用及び住宅用空調機メーカー	3.3%
8	ソニーグループ	6つの事業セグメントをもつ総合エンターテイメント企業（ゲーム・映画・音楽・エレクトロニクス・半導体・金融）	3.2%
9	第一生命ホールディングス	FA用センサー、測定器、画像処理・制御・計測・研究開発用解析機器等の開発・製造・販売・サービスをグローバルに提供	3.0%
10	神戸物産	ディスカウント食品スーパーの「業務スーパー」を展開	2.9%

データ: コムジェスト・アセットマネジメント

パフォーマンスは、信託報酬を控除しておりません。1年以上の騰落率は年率平均（複利ベース）。

日本籍私募投信は、戦略のパフォーマンスをご理解頂くために提示していますが、一般の投資家の方は直接買い付けることはできません。

参考指数は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を使用。

指数は、パフォーマンスの評価の目安としてのみ利用しており、指数と同じ銘柄に投資しているという事を示すものではありません。

資料の用いられた運用実績に関するグラフ、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

COMGEST

最終ページの「留意事項」を必ずご覧ください

コムジェスト・日本株式戦略

日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

運用状況について

4-6月期のパフォーマンスについて

・日本株市場は上昇し（参考指数は＋14.45%）、当ファンドは＋6.66%となりました。
・パフォーマンスにプラス寄与となった主な企業は、ファーストリテイリング（「ユニクロ」を展開するアパレル大手）：オリエンタルランド（TDL運営企業）、ダイキン工業（世界最大手空調機メーカー）等でした。
・一方、マイナス寄与となった主な企業は、FOOD & LIFE COMPANIES（回転寿司チェーン最大手）、コーセー（大手化粧品メーカー）、レーザーテック（半導体検査装置）等でした。マイナス寄与企業については、引き続き質の高さを有することから、投資判断に大きな変更はなく、継続保有の方針です。

主な投資行動

・新規投資、全売却した企業はありません。また、成長への確信度が低下した企業や株価が上昇した一部企業についてはバリュエーションの観点からポジションの削減を行い、一方、株価水準が割安な企業、成長への確信度が増した企業については買増しを実施しました。

＜主な買増し企業＞

味の素：1-3月期より投資実施。電子材料及び医薬品受託製造の中長期的な事業拡大に加え、調味料・食品の値上げ効果や冷凍食品の収益改善を期待したため。

東レ：樹脂や光学・電子部品用フィルム等の機能化成品事業が回復する兆しに注目したため

エヌ・ティ・ティ・データ：海外市場における不透明感はあるものの、底堅い IT サービス需要の獲得を期待したため。

＜主な削減企業＞

ニデック：収益性の高い第二世代品の投入により EV 向け事業の赤縮は期待するも、マクロ減速から HDD 市況や家電需要のリスクを反映したため。

サイバーエージェント：売上拡大により ABEMA を含むメディア事業の赤縮は期待するも、広告事業の利益率低下やモバイルゲーム「ウマ娘」の訴訟リスク等を慎重に判断したため。

ペプチドリーム：６月に共同開発の先端巨大症治療薬のＰ１試験が開始する等コロナ禍で鈍化していた創薬研究が活発化するも、相対的なリスク・リターンが低下したため。

ピジョン：主力の中国市場における事業環境の改善が見通しにくいため。

・当ファンドのパフォーマンスはグロース株からバリュー株へのシフト（非保有の商社、銀行株が上昇）、足元の相場上昇をけん引している大型IT銘柄の非保有、保有企業の株価下落等により苦戦を強いられていますが、当ファンドの5年平均EPS成長率は依然15%を予想していることから、投資先企業の質の高さが実力を発揮することを期待しています。

過去3年のパフォーマンス寄与　上位下位企業

【過去３年のパフォーマンス寄与企業】（2020年6月末～2023年6月末）

寄与上位3社	業種	平均保有比（%）	パフォーマンス（%）	保有状況
ファーストリテイリング	一般消費財・サービス	3.19	78.54	継続保有
ダイキン工業	資本財・サービス	3.33	68.82	継続保有
オリエンタルランド	一般消費財・サービス	2.72	96.66	継続保有

寄与下位3社	業種	平均保有比（%）	パフォーマンス（%）	保有状況
ピジョン	生活必需品	2.33	-52.41	継続保有
ペプチドリーム	ヘルスケア	1.72	-56.68	継続保有
日本Ｍ＆Ａセンター	資本財・サービス	2.14	-54.89	継続保有

データソース：Factset

コムジェスト・日本株式戦略

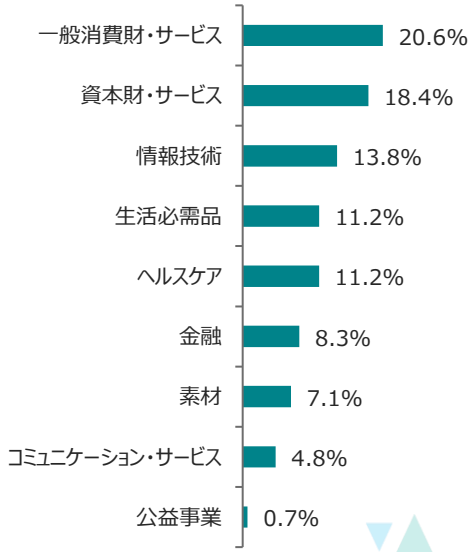
日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

保有上位企業の注目点

1 信越化学工業	日本最大の化学メーカー。塩化ビニール樹脂やシリコーンウェハーをはじめ世界トップシェアを誇る製品を数多く扱っており、バランスの取れた製品ポートフォリオが強みです。世界シェア首位の製品は価格交渉力が強く、23年3月期の連結純利益は塩化ビニール樹脂の値上げが浸透し、42%増と好調でした。
2 ファーストリテイリング	ユニクロ、ジーユー等のブランドでカジュアル・ウェアの製造販売を手掛けています。厳しい競争環境下で同社は規模、ブランド力、高い商品企画力等で高い参入障壁を構築しています。物流倉庫の全自動化「有明プロジェクト」を始動し、オンライン販売の拡充に取り組む等、テクノロジーを活用した徹底的効率化に注力中です。中間所得者層の増加を見込み20年以上前から中国を始めとするアジア市場進出を推進しています。コムジェストは、同社が環境負荷の大きいアパレル業界において、サプライチェーン情報の開示等、労働環境向上、廃棄を減らす製品開発等に積極的に取り組み、厳しい結果も隠すことなく開示する姿勢を評価しています。今後は現状のさらなる改善と後継者問題の解消に期待しています。
3 シスメックス	血球計数検査分野で世界シェア１位。高い技術力、競合を圧倒する高い検査性能を誇る機器を世界に展開しています。コムジェストは同社初の海外投資家であり、20年以上に渡り投資を継続しています。高い技術力と信頼性で参入障壁を築き、ヘマトロジー事業で世界トップシェアを有し、検査機器の販売後も持続的に生じる試薬・関連サービスにより収益を稼ぐビジネスモデルも安定的です。世界的な高齢化による血液検査需要の増加は同社の追い風であり、検査項目数も拡大傾向で、メディカルロボット事業にも期待しています。 ESG情報の開示に非常に積極的で、全般的な取組みのレベルが高いです。コムジェストとのエンゲージメントの歴史も長く、改善が進んでおり、同社のESGへの取り組みを高く評価しています。
4 オリックス	多角的な金融サービスを提供。法人金融サービス事業、メンテナンスリース事業、不動産事業、投資・運用 事業、リテール事業、海外事業のなどのセグメントで構成されています。当社の参入障壁は、日本の中小企業の顧客基盤であると考えます。その顧客に対して、賃貸仲介から合併・事業承継のアドバイス、プロパティマネジメント、融資・ストラクチャードファイナンスの仲介、そして2014年の弥生の買収により会計ソフトへと発展させてきました。さらに弥生を2023年3月に購入時の3倍の金額で売却し、投資会社としての色合いも強めています。
5 オリエンタルランド	「東京ディズニーランド（TDR）」、「東京ディズニーシー」を擁する日本最大のアミューズメントパーク。テーマパークの入園者数は1984年のオープン以来、年1000万人から年3000万人へ増加。一方、TDRの1日パスポートの価格は1984年の3900円から2021年10月の最大9400円へ値上げ（それでもまだ世界的には割安）。値上げをしながらも来場者数UPを達成するだけのカスタマーバリュー（顧客価値）を顧客に提供し、ファンから強い支持を得ています。米ディズニー社との独占的長期ライセンス契約が高い参入障壁となっています。

―業種別



データソース：T-star, Comgest S.A.

業種別はGICS（世界産業分類基準）セクター分類に基づいております。比率は純資産総額に対する割合です。

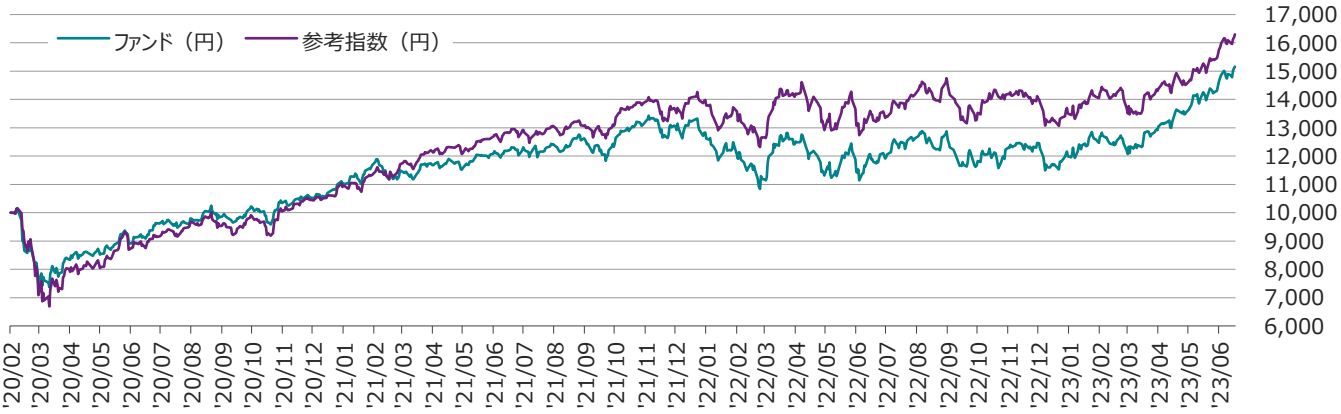
コムジェスト・世界株式戦略

日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

設定日＝2020年2月13日

累積パフォーマンス(%)



※参考指数：MSCI ACWI指数（円ベース、税引き後配当再投資）

＊参考指数は設定日前日を10,000として指数化しています。

	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	設定来（年率）
ファンド	18.18	29.43	27.29	18.31	-	13.09
参考指数	15.34	22.81	21.00	22.54	-	15.49
+/-	+ 2.84	+ 6.62	+ 6.29	- 4.23	-	- 2.40

保有上位10社（銘柄総数36： 株式組入比率：97.2%）

名前	国	概要・特徴	保有比率
1 マイクロソフト	アメリカ	クラウドサービスAzureで世界シェア２位。サブスクリプション型クラウドを軸とした幅広い製品・サービス（Windows等）の提供により、顧客のDX化、業務効率化を図り、付加価値を提供する	6.7%
2 イーライリリー	アメリカ	米国の研究開発型大手製薬会社。糖尿病、がん、関節リウマチ、乾癬、成長障害等の領域をカバー。世界8か国に研究所を有し、120か国以上で事業展開	6.5%
3 リンデ	イギリス	産業用ガス分野の世界最大手	4.5%
4 ASMLホールディング	オランダ	オランダの半導体製造装置メーカー。世界トップの技術力を有する	4.4%
5 LVMHモエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン	フランス	世界最大の高級品コングロマリット	4.0%
6 ロレアル	フランス	化粧品世界最大手。「ロレアル・パリ」、「ランコム」、「メイベリン」、「キールズ」、「シュウ・ウエムラ」、「ザ・ボディ・ショップ」、「ケラスタス」等、約30の有名ブランドを保有。	3.9%
7 ジョンソン・エンド・ジョンソン	アメリカ	家庭用から医療用まで幅広く製薬、医療機器その他のヘルスケア関連製品の開発・生産・販売を手掛ける	3.8%
8 台湾セミコンダクター（ＴＳＭＣ）	台湾	世界最大のロジック半導体ファウンドリー（受託製造企業）	3.7%
9 エシロールルックスオティカ	フランス	フランスのアイウェアメーカー	3.7%
10 インテュイット	アメリカ	中小企業・自営業者、個人、財務・税務の専門家向けに業務用ソフトを開発。主な製品はビジネス向け会計ソフト「QuickBooks」、消費者向け確定申告ソフト「TurboTax」など。	3.6%

パフォーマンスは、信託報酬を控除しておりません。1年以上の騰落率は年率平均（複利ベース）。

日本籍私募投信は、戦略のパフォーマンスをご理解頂くために提示していますが、一般の投資家の方は直接買い付けることはできません。

参考指数はMSCI ACWI指数（円換算ベース、税引き後配当再投資）を使用。

指数は、パフォーマンスの評価の目安としてのみ利用しており、指数と同じ銘柄に投資しているという事を示すものではありません。

資料の用いられた運用実績に関するグラフ、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

コムジェスト・世界株式戦略

日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

運用状況について

4-6月期のパフォーマンスについて

・世界株式市場は上昇（参考指数は＋15.34%）、当ファンドは＋18.18%となりました。

・パフォーマンスにプラス寄与となった主な企業は、好決算を発表したイーライリリー（アメリカ/製薬大手）、クラウドサービスAzureが好調なマイクロソフト（アメリカ/世界最大のソフトウェアメーカー）、リンデ（アイルランド/産業用ガスメーカー）等でした。一方で、マイナス寄与となった主な企業は、以下の通りです。

テンセント・ホールディングス（中国/インターネットゲーム大手）：四半期決算で明らかになったファンダメンタル収益の改善により、好調な業績を上げていたものの、中国・香港市場全体の低迷の影響を受けました。

アクセンチュア（アイルランド/アイルランドのダブリンに登記上の本拠を置く総合コンサルティング会社）：３-５月期業績が一部予想を下回ったほか、通期（2023年８月期末）の売上高成長率を従来予想から１%ポイント引き下げ、＋６%～８%としました。短期プロジェクトや顧客の裁量支出に絡むコンサルティング収入が鈍化するとの見方が背景にあります。

・マイナス寄与企業については、高い質を有し、長期的に利益成長を遂げるものと考えています。慎重にモニタリングする必要はあるものの、投資判断に大きな変更はなく、継続保有の方針です。

主な投資行動

・**2**社に新規投資を実施、全売却はありませんでした。新規投資の理由は以下の通りです。

アクセンチュア（アイルランド）：アイルランドに登記上の本拠を置くグローバル総合コンサルティング企業。クラウド、セキュリティ、デジタル顧客体験／対話／サービス、 AI などの企業のデジタル化の恩恵を受け長期的な持続的成長に確信を持ったこと、同社のバリュエーションが魅力的な水準となったと判断したため、新規投資を実施。

ゾエティス（アメリカ）：アメリカの動物向け医薬品等のヘルスケア企業。さらなる収益性向上、コンパニオンアニマル（ペット）事業の 3 分の 2 を占める既存薬である Simparica （寄生虫駆除薬）、Apoquel と Cytopoint（皮膚炎用の薬）、現在上市中の犬用リブレラと猫用ソレンシア（変形性関節症の鎮痛薬）の貢献による年率10%の売上成長により、確度の高い2ケタの成長が期待できると判断し、新規投資を実施。

・この他に、株価が堅調に推移し、相対的に割高になった企業や成長への確信度が低下した企業についてはポジションを一部削減し、株価水準が魅力的な企業、成長への確信度が高まった企業の買増しを実施しました。

・2023年の企業利益の成長率の市場予想は1けた台前半であるのに対し、当ファンドでは2けた台前半を見込んでいます。また、5年間の時間軸では、良好な視界を確保しつつ、10%台後半の成長を予想しています。

過去１年のパフォーマンス寄与　上位下位企業

【過去3年のパフォーマンス寄与企業】（2020年6月末～2023年6月末）

寄与上位3社	国	業種	平均保有比率（%）	パフォーマンス（%）	保有状況
イーライリリー	アメリカ	ヘルスケア	4.75	284.15	継続保有
マイクロソフト	アメリカ	情報技術	5.48	127.22	継続保有
台湾セミコンダクター（ＴＳＭＣ）	台湾	情報技術	3.94	120.08	継続保有

寄与下位3社	国	業種	平均保有比率（%）	パフォーマンス（%）	保有状況
アリババ・グループ（阿里巴巴集団）	中国	一般消費財・サービス	1.15	-48.22	継続保有
アクティビジョン・ブリザード	アメリカ	コミュニケーション・サービス	0.52	-32.95	継続保有
アライン・テクノロジー	アメリカ	ヘルスケア	0.54	-25.19	全売却

データソース：Factset

コムジェスト・世界株式戦略

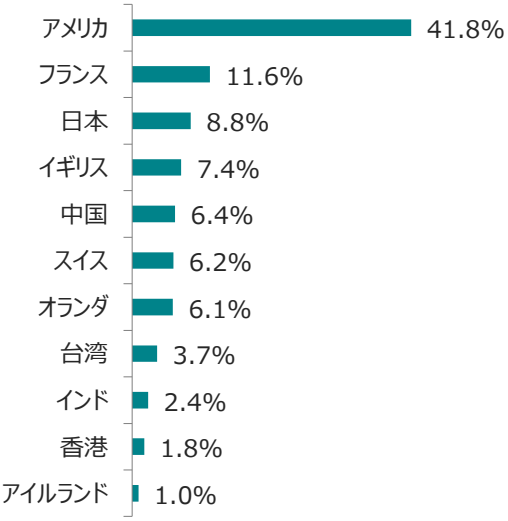
日本籍私募投信マザーファンド

2023年6月末現在

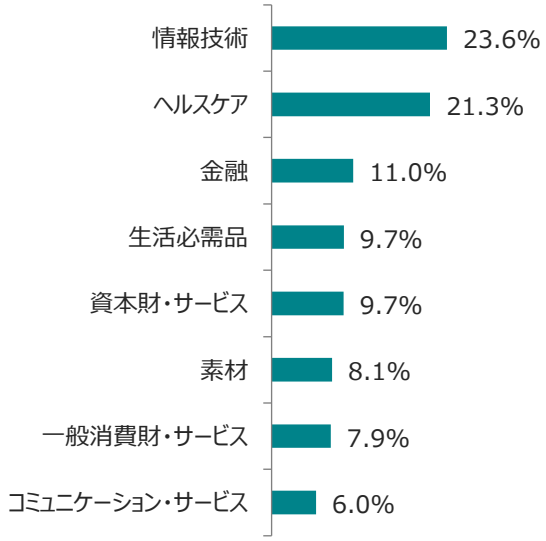
保有上位企業の注目点

1 マイクロソフト	OSのWindows、業務用ソフトOffice、クラウドサービスAzure、タブレットSurface、ゲーム機Xbox、複合現実レンズHoloLens等、多岐にわたるIT関連サービス・機器を提供しています。同社は、サティア・ナデラCEOの下、ソフトの売切りによるWindows主導の独占的的なビジネスモデルからクラウドを軸としたサブスクリプション型、かつ、他社との提携を取り入れる友好的戦略への転換により、同社ビジネスは持続可能性が高まり、かつての成長を取り戻しました。AI浸透に伴い、大量データの取り扱いが見通される中、高い安全性と網羅性を有する同社のサービスは、顧客企業にとって、重要なITインフラとしてニーズがますます高まりそうです。
2 イーライリリー	同社は、世界初となるインスリン製剤の大量生産に成功する等、革新的な医薬品の研究開発を強みとする糖尿病治療薬の業界リーダーです。その他に、がん治療薬、アルツハイマー型認知症治療薬を含め、充実した製品パイプラインを有しています。2021年6月に同社のアルツハイマー型認知症の抗体治験薬である「Donanemab （ドナネマブ）」が、米食品医薬品局（ FDA ）から画期的治療薬の指定を受けました。同社に期待がかかります。
3 リンデ	同社は、ドイツのリンデ社と米プラクスエア社の経営統合により設立された持ち株会社であり、産業用ガス分野の世界最大手です。水素製造事米プラスエア社業は市場規模が「世界３強」の1つとなっており、水素市場の拡大期待とともに長期的な成長への確信度が高まっています。長期的な視点を持った経営陣についても評価しています。
4 ASMLホールディング	同社は、先端半導体の生産に不可欠なEUV（極端紫外線）リソグラフィ（露光）装置の世界最大手であり、市場を独占しています。その背景は、EUV装置の製造過程をモジュール化し、コア技術以外の技術をオープンにすることで部品メーカーとの分業体制を構築したことにあり、この体制により、同社は他社の追随を許さないコア技術の確立に成功しました。同社の顧客である半導体メーカー大手３社（米インテル、台湾セミコンダクター（ TSMC ）、韓国サムスン電子）は EUV技術による生産計画を示していますが、これは EUVへの生産シフトが今後数年間、同社の収益成長を支える原動力となることを意味します。
5 LVMHモエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン	同社は高級ブランドのルイ・ヴィトン、クリスチャン・ディオール、フェンディ等や高級酒類のヘネシー、モエ・エ・シャンドン、ドン・ペリニオン等、複数の高級ブランドを傘下に有する高級品コングロマリット。同社の参入障壁は長い歴史を経て醸成された「ブランド」そのものにあります。ラグジュアリーブランドは価格競争に巻き込まれにくい特徴があり、また、同社は事業規模の大きさから、小規模な競合他社に対してマーケティング費用で圧倒的な優位性があります。世界的な富裕層の増加、中国等の新興国における中間所得層の増加、新興国市場への地理的拡大による成長が見込まれます。

―国別



―業種別



データソース： T-star, Comgest S.A.

国別はComgest S.A.による分類に、業種別はGICS（世界産業分類基準）セクター分類に基づいております。比率は純資産総額に対する割合です。

コムジェスト運用チーム 日本籍ファンド主担当

EUROPE

WILLIAM BOHN
Analyst/PM
(4/3)

DENIS LEPADATU
Analyst / PM
(13/7)

ARNAUD COSSERAT
Analyst / PM
(36/26)

LAURENT DOBLER
Analyst / PM
(37/31)

EVA FORNADI
Analyst / PM
(18/17)

JAMES HANFORD
Analyst / PM
(13/4)

PIERRE LAMELIN
Analyst / PM
(19/11)

CONNOR MIDDLETON
Analyst
(4/<1)

FRANZ WEIS
Analyst / PM
(33/17)

ALISTAIR WITTET
Analyst / PM
(16/11)

GLOBAL EMERGING MARKETS

JULIETTE ALVES
Analyst / PM
Paris, (18/12)

ABLA BELLAKHDAR
Analyst / PM
Paris, (10/8)

ANNE-LAURE GIRAUD
Analyst
Paris, (6/3)

CAROLINE MAES
Analyst / PM
Paris, (19/10)

PIERRE MAINDRON
Analyst
Paris, (4/8)

NICHOLAS MORSE
Analyst / PM
Paris, (36/7)

SLABBERT VAN ZYL
Analyst / PM
Paris, (15/9)

ASIA EX JAPAN

ADAM HAKKOU
Analyst / PM
Singapore, (10/9)

GARY PINGE
Analyst / PM
Singapore, (24/8)

DAVID RAPER
Analyst / PM
Sydney(24/20)

GREATER CHINA

JIMMY CHEN
Analyst/ PM
Hong Kong, (14/6)

JASMINE KANG
Analyst / PM
Hong Kong, (18/8)

JIMMY YANG
Analyst
Hong Kong, (6/3)

BAIJING YU
Analyst / PM
Hong Kong, (15/11)

INDIA

SWATI MADHABUSHI
Analyst / PM
Singapore, (11/3)

BHUVNESH SINGH
Analyst / PM
Singapore, (23/6)

MUM TAGGU
Analyst
Singapore, (<1/2)

JAPAN

CHANTANA WARD
Analyst / PM
(24/24)

RICHARD KAYE
Analyst / PM
(29/13)

MAKOTO EGAMI
Analyst / PM
(22/10)

JUNZABURO HYUGA
Analyst
(13/5)

HEYANG PING
Analyst
(12/<1)

ERIC VORAVONG
ESG ANALYST
(34/6)

USA

LOUIS CITROEN
Analyst/ PM
(13/4)

CHRISTOPHE NAGY
Analyst / PM
(26/14)

JUSTIN STREETER
Analyst / PM
(13/7)

REMI ADAM
Analyst/PM
(10/3)

ALICIA ZHANG
Analyst
(11/1)

FRANCESCO MANFREDINI
Analyst
(3/<1)

GLOBAL

KIRA HUPPERTZ
Analyst
(8/2)

RICHARD MERCADO
Analyst/ PM
(22/4)

ALEXANDRE NARBONI
Analyst / PM
(19/13)

LAURE NÉGIAR
Analyst / PM
(13/12)

ZAK SMERCZAK
Analyst / PM
(17/6)

FRÉDÉRIC YOBOUE
Analyst
(8/2)

ESG

SÉBASTIEN THÉVOUX-CHABUEL
Head of Responsible Investment
ESG Analyst/ PM
Europe, Global, USA
(24/9)

VIVA JIANG
ESG Analyst
Asia ex Japan
(7/1)

PETRA DAROCZI
ESG Analyst/PM
USA, Europe
(14/2)

ERIC VORAVONG
ESG Analyst
Japan
(34/5)

XING XU
ESG Analyst / PM
Asia ex Japan
(5/2)

2023年7月1日現在
(業界経験年数 / コムジェストでの経験年数)

RICHARD KAYEと**MAKOTO EGAMI**は、*投資顧問契約において日本株式の価値等の分析に基づく投資判断に関する助言を行います。*

COMGEST

最終ページの「留意事項」を必ずご覧ください

資料ご利用に当たっての留意事項

商号等：コムジェスト・アセットマネジメント株式会社(金融商品取引業者)、登録番号：関東財務局長(金商)第1696号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

業務内容：当社は金融商品取引業者として投資運用業、第二種金融商品取引業及び投資助言・代理業を行っております。

運用報酬(消費税込)：当社の投資運用サービスをご利用になる場合の当社の報酬については、投資運用業において実施される投資戦略、投資対象などの組み合わせ及び運用資産の規模等により異なりますので、その上限又は計算方法を表示することが出来ません。
また、当社の投資助言サービスをご利用になる場合の当社の報酬は、助言の前提（投資戦略、投資対象などの組み合わせ及び運用資産の規模等）により異なりますので、その上限又は計算方法を表示することが出来ません。

ご負担頂く費用等：当社の投資運用サービスをご利用になる場合、有価証券等の保管に係る費用、売買委託手数料等をお客様にご負担いただくことがあります。これらの費用については、投資運用業において実施される投資戦略、投資対象などの組み合わせ及び運用資産の規模等により異なりますので、各費用の上限額又は計算方法並びに運用報酬を含めた合計額又は計算方法を表示することが出来ません。

リスク情報：投資運用業において行われる運用は、主に国内外の株式や公社債等の債券などの値動きがある有価証券を投資対象としており、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格や評価価格の変動や為替の変動及び金利水準の変動等により、運用資産の価値が変動します。従って、当社がお客様から受託した資産の当初の元本額を下回ることがあります。 投資対象は、個別の投資信託または投資一任契約毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。
株式の価格は株式相場の変動等により変動することがあります。この結果、取得・換金のタイミング次第で元本欠損となることがあります。債券の価格は、一般に、金利の変動により上下します。また、市場・経済の状況の変化等によって変動することがあります。この結果、取得・換金のタイミング次第で元本欠損となることがあります。
外貨建ての株式、債券、投資信託等は、一般に取得時にその外貨を買付け、換金時などに取得外貨を売却し円貨を取得します。その間、為替相場の変動によっては、外貨額に変動がなかったとしても、取得・換金のタイミング次第で円貨において元本欠損となることがあります。
上記に記載しているリスクや費用項目については、一般的な投資信託または投資一任契約及び投資助言契約を想定しております。投資信託または投資一任契約及び投資助言契約に係るリスクや費用は、個別の投資信託または投資一任契約及び投資助言契約により異なりますので、ご契約にあたっては、契約締結前交付書面及び契約締結時交付書面をよくお読み下さい。

代表口座情報：この資料において紹介する代表口座は、該当する戦略のコンポジット内で最も長い運用期間を持つファンドです。コンポジットのGIPS準拠のプレゼンテーションの受け取りについては、別途ご連絡ください。当ファンドは代表口座と同様の運用プロセスで運用を行いますが、設定日、投資制限、およびその他の要因に基づいて変動する場合があることから、同様のパフォーマンスにはなりません。

注記：本資料に記載されている過去の例はあくまでも投資運用業務における運用のご参考として表示したものです。過去の例は将来の運用成果を保証するものではありません。

本資料はコムジェスト・グループの運用方針および運用状況等に関する情報提供を目的に、コムジェスト・エス・エー社が作成した資料等に基づきコムジェスト・アセットマネジメント株式会社が作成したものです。本資料は、当グループのファンドの取引を勧誘又は推奨するものではなく、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。特定の商品や取引、あるいは資料中に個別の銘柄名等が含まれている場合であっても、当該銘柄への金融商品取引を勧誘・推奨するものではありません。

本資料は弊社が信頼できると考える情報等に基づいて作成されておりますが、その正確性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。投資される際には、投資リスク及びご負担いただく手数料などの諸費用について約款等でよくご確認の上、ご自身の責任と判断でお願いします。

本資料に掲載したインデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、当該インデックスの公表元またはその許諾社に帰属します。

当社の事前の承諾なく、当資料の一部または全部を使用、複製、転用、配付等する行為はお断りします。